

「坂出市高齢者福祉計画および第8期介護保険事業計画」の進捗にかかる質問・意見について（回答）

2. 高齢者の生活を支える体制の充実					
No.	資料ページ	項目		意見・質問のポイント	回答
2	P9	2	(1)	② 私たちの地域では、第2層協議体の活動が地域の熱意と行政の支援をいただいで活動できていることに感謝しています。（夜の会合にも市、市社協の職員の皆さんの参加は心強くありがたいです。） 【意見】	第2層協議会が各地区で立ち上げられていますが、今後もより活発に地域の課題に対し、各地区で取り組んでいけるように支援していけたらと考えています。
3	P15	2	(3)	③ 免許返納をしたため利用者の交通手段について考えて欲しいという利用者がいました。同じ方向の人達でタクシーを利用してはと話しましたが、どうなったかは不明です。 【意見】	外出に関してのさまざまな課題に対し、他課と連携を取りながら支援方法を検討していきたいと思えます。
4	P17	2	(5)	④ 老人大学の講演は、身近な関心事を分かりやすく話してくれるので、これからも認知症などの知識をしっかりと伝えて（今は認知症になったら仕方ない）との風潮があるが認知症になっても地域で助け合って生活できる方法など人生100年時代の在り方に目を向けられる啓発をお願いしたい。 【意見】	地域包括支援センターでは、「認知症サポーター養成講座」をはじめ、出前講座にて「認知症予防」などの講話を通して、認知症への理解を地域のかたへ普及啓発を行っております。 コロナ感染症で、出前講座の依頼が少なかったのですが、今年は自治会や通いの場が数年ぶりに開催されたりと依頼が増えております。引き続き、普及啓発を行っていききたいと思います。

3. 認知症施策の推進					
No.	資料ページ	項目		意見・質問のポイント	回答
12	P13	3	(1)	① 私自身、認知症サポーター講座は何度も受講してきました。具体的な支援につながる活動はありませんが、日々、新しい知識を得ることに興味を持っている高齢者はたくさんいると思われまます。 ステップアップ講座が隔月の第3水曜日で固定されているので、受講できないとの声もありました。せっかく受講したので、他の日にステップアップ講座を特別に設けることは可能ですか。 【質問】	ステップアップ講座の開催日について、ご意見ありがとうございます。来年度は、曜日等を検討していきたいと思えます。 今後も認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての普及啓発をあらゆる機会を通して実施してまいります。

4. 介護支援の推進					
No.	資料ページ	項目		意見・質問のポイント	回答
14	P25	4	(3)	①在宅介護のみで入所者についての記載はないのでしょうか。 ②新規申請については、27Pで確認できました。高齢者の中で介護保険を利用しているのは何%ぐらいでしょうか。 【質問】	①施設入所に関する施策としては、介護職員の資質向上、給付費の適正化、施設整備等により取り組んでおります。 ②令和4年度末時点の認定者数 3,536名 サービス利用者数(令和5年3月分)(延べ人数) 居宅介護(予防926名、介護1,364名 計2,290名)、 地域密着型サービス(予防14名、介護297名 計311名)、 施設介護サービス486名 利用者数は、延べ人数で計3,087名が利用しております。

全体					
No.	資料ページ	項目		意見・質問のポイント	回答
1		全般		老人福祉法では、65歳以上を高齢者と定義しているが、昭和30年当時の日本人の平均寿命が男性63.6歳、女性67.7歳でこの平均寿命を超えた人が高齢者と呼ばれていた。 ならば、現在(令和3年時)の男性の平均寿命が81.47歳、女性が87.57歳であることから少なくとも70歳もしくは75歳(後期高齢者)を高齢者と位置づけが適当なのではないかと感じている。 【意見】	以前と比較すると元気な高齢者は増えてきていることから、介護予防と社会参加はますます重要になっています。年齢の位置づけにとらわれず、年齢に応じた介護予防について普及啓発を行っていききたいと思います。